



釜淵保育所の「なし団子飾り」

ま 真室川町

# 議会だより

2018年1月25日

No. **141**

---

年頭のあいさつ .....	2
議案審議 .....	3
一般質問（7人登壇） .....	4
請願、議会のうごき、春夏秋冬 .....	11
町民の声 .....	12

---

# 謹賀新年



明けましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、日頃より、町政の発展と議会運営に対してご理解とご協力を賜り、真室川町議会を代表致しまして深く感謝を申し上げます。

さて、我が国を取り巻く環境は、緩やかに景気が回復されてきていると言われておりますが、地方においては依然厳しい社会経済状況にある中、緊迫する国際情勢・温暖化等による自然災害の増加など、自治体は新たな課題を抱えています。さらに、本町においては、豊かな町づくりの礎となる人口減少対策や子育て支援の推進など、課題が山積しております。

本年も全議員一丸となって、豊かな町政運営の実現と町政発展に尽力してまいりますので、町民の皆様にはさらなるご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、皆様方の益々のご多幸とご繁栄を心からご祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。

真室川町議会議長 五十嵐 久 芳

本年もよろしく  
お願いいたします



- 高橋秀則 議員
- 菅原道雄 議員
- 平野勝澄 議員
- 大友又治 議員
- 佐藤一廣 議員
- 五十嵐久芳 議長
- 佐藤成子 議員
- 外山正利 副議長
- 佐藤栄子 議員
- 佐藤勝徳 議員
- 佐藤 正 議員

## 産業振興条例補助金610万円補正

3年で10名の町民を雇用、さらに増える見込み

## 12月定例会

12月定例会は18日から21日までの4日間の会期で開かれ、専決処分の報告、人事案件2件、条例改正各会計補正予算など、町長提出案件13議案を慎重に審議し、それぞれ原案のとおり可決されました。

### （産業振興条例奨励補助金）

一 廣議員 雇用者ほどのくらい確保されるのか。その給与は年間いくらになるか。

交流課長 当該事業所については平成26年8月19日に奨励事業所として指定。その後の3年間で計13名の新規雇用があった。うち町民が10名雇用されている。特に直近の平成28年度は4名採用のうち4名が町民。給与は年齢等で差異があるが200万円前後から。

菅原議員 産業振興条例奨励金補助金の補正については。

交流課長 労働費について真室川町産業振興条例の用地及び建物取得の奨励金に係る事案

である。

今般、造成を行い先に土地取得交付している。

### （青年就農給付金）

一 廣議員 制度を農家全体に周知しているか。これからの周知の考え方は。

農林課長 今年度から新たに給付を受けている方が1名。今後、町内向けに再度周知しながら掘り起こしを行い農業の活性化につなげたい。

（産地ブランド化促進事業費）

大友議員 米食味鑑定コンクールの成果は。

交流課長 町施設の利用者数、梅里苑は鑑定士のみ10名の宿泊。交流会参加者は452名。

一般会計補正予算主な項目	金額
人事院勧告等による職員給与	799万8千円
住民基本台帳システム改修料	135万円
最上地区広域連合負担金	▲437万4千円
灯油購入助成事業	196万2千円
水道会計交付金	▲1350万円
産業振興条例補助金	610万5千円
産地パワーアップ事業補助金	642万4千円
環境王国推進交付金	139万3千円
米・食味分析鑑定コンクール実行委員会補助金	244万9千円
スクールバス修繕料	100万3千円

### ◆専決処分の報告

○一般会計補正予算

- ・衆議院選挙費 821万4千円
- ・林道内ノ沢線災害復旧事業費 848万6千円

### ◆固定資産評価審査委員会委員の選任

○佐藤 重孝氏 (山屋地区)

### ◆教育委員会委員の任命

○鮭延三枝子氏 (新及位地区)

### ◆議員報酬等条例の一部改正

◆特別職給与条例の一部改正

◆一般職職員給与の一部改正

◆職員の育児休業に関する条例の一部改正

◆農村地域工業等導入審議会条例の一部改正

### ◆各会計補正予算

◆一般会計 既決予算57億4400万円に1950万円を追加。

### ◆国民健康保険

既決予算8360万円から20万円を減額。

### ◆介護保険

既決予算12億2294万円に1220万円を追加。

### ◆水道事業

既決予算3億5900万円に620万円を追加。

### ◆公共下水道事業

既決予算1億650万円に50万円を追加。



菅原 道雄 議員

### 運動公園使用料の見直しを

町長

総合的に検討する

#### ふるさと納税

掲げ寄附していただいている。使途事業を明確にすることにより寄附件数も増えることも期待されることから、様々なアイデアを加味し、新たな事業の拡大をめざしていく。

にし、雨天や冬期間も利用できるようにすべしと考えるが。

町長 施設全体へのニーズ、冬期間のスポーツ施設へのニーズ、利用促進のため

議員 「お礼3割」までとするよう通達が出され、各自自治体の対応は色々だが町の対応は、また事業名を明確にし、目標額を設定し行動すべきと考えるが。

地域経済効果に大きく波及するよう、他地域からどう誘客していくのか、また子どもから高齢者までスポーツに親しむ機会を継続的に提供することを、健康寿命の増進にどうつなげていくのか等の課題と併せて総合的に検討する。



使用ひん度の減ったゲートボール場

町長 ながら総合的に判断する必要がある。提案として受け止め転用の検討は早期に進める。

町長 返礼割合3割を基本に設定し、来年度の目標額は今年度の決算見込み、他自治体の動向を勘案し目標値を設定したい。ふるさと納税の使い道として現在8項目を

議員 利用料金を値下げたまた無償化して各種大会を誘致し、交流人口の拡大を図ることや高齢者の負担を軽減し、健康寿命を延ばす運動につなげていくべきと考えるが。

町長 近隣市町村の類似施設等使用料を参考として設定しており、児童生徒の健全育成や競技力向上の観点から大人料金の半額、各種大会については軽減、学校部活動は全額免除にしている。

#### 屋根付き多目的広場に

議員 ゲートボール場を屋根付き多目的広場に

議員 「特色ある生産性の高い、農林業の振興に努めます。」の中で、「やまがた森林ノミクス」の中心が真室川町になるように努めま

町長 具体的には、庁舎建設に地場産木製品を可能な限り使用し、また、木質バイオマスエネルギーの効果的な活用を検討するなど、これまで林地に放置されてきた間伐材の供給の流れを生み出し、地域資源を余すところなく活用する「カスケード利用」を推進し、木材利用を軸とした町づくりを進めていく。

又道路となる県道35号線、特に及位・真室川間の整備の促進をどのように考えているのか。町長 主要地方道真室川鮭川線については、秋田県や近隣市町村を往来する幹線道路として産業、経済、文化面の発展や観光振興等に大きく寄与し、また、東日本大震災を契機に

緊急車両の通行や支援助物資輸送の確保に資する緊急輸送道路に指定された重要な路線である。今後は、東北中央自動車道のアクセス道路として、交流人口の拡大や産業振興などの面において益々その役割が増大することから今計画が進んでいる東北中央道とリンクさせ

て陳情を行うなど、整備促進に向けた活動を強化していく。議員 東北中央道北の玄関口に「道の駅」の構想の考えは。町長 町全体を北の玄関口ととらえ、管内市町村と連携しながら検討していく。

※「カスケード利用」とは、資源やエネルギーを利用すると品質が下がるが、その下がつた品質レベルに応じて何度も利用すること。同じレベルで複数回使用するリサイクルとは異なりサイクルをなすおらず、厳密には区別されるが、リサイクルに含められることもある。

## 「やまがた森林ノミクス」で真室川町を県を中心にする内容は

町長

庁舎建設に地場産木製品を可能な限り使用する



高橋 秀則 議員

#### 県道真室川鮭川線の整備の考えは

議員 東北中央道及位インターからのアクセス



集落内を通る県道35号線



佐藤 成子 議員

町長

## 子育てしやすい環境整備について

### 保育サービス提供体制の整備を計画的に進めていく

**議員** 副教材費の無償化について実施の見通しは。

**町長** 副読本、資料集、学習帳、テスト、ドリルなど授業で補助的、継続的、計画的に使用されている教科書以外の補助教材費について、原則公費負担とするため検討を考えている。

**議員** 給食費の無償化について実施の見通しは。

**町長** 給食費の保護者負担を軽減するにあたっては、財源の確保が

大きな課題となり、保護者の食育をはじめとする子育て意識への影響や各種福祉対策実施への影響なども考慮する必要があるので、財源を精査しながら実施に向けた検討を進めていく。

**議員** 0歳から2歳児の保育料無償化実施の見通しは。

**町長** 町内の現状としては、特に3歳未満児の保育ニーズに対応しきれない様子が伺える。まずは現状と将来の保

育ニーズに対応できる保育サービス提供体制の整備を計画的に進めていく。

**議員** 家族の子育て支援についての具体的な内容は。

**町長** 子育て支援医療費給付制度による中学生までの医療費無料化、予防接種の無料化、保育料の軽減・無償化、子育て支援センターの設置、子育て支援住宅の整備等各種の子育て支援施策を実施してきた。

**議員** ファミリー・サポート事業について。

**町長** 子ども園、保育所でのサービス量確保をすすめるとともに、子ども園、保育所に入所していない乳幼児等の子育て中の保護者を会員として、子ども預かり等の援助希望者と援助を行うことを子育て支援員との相互に助け合う活動を支援する事業である。



「わんぱく広場」で遊ぶ子どもたち

来年4月から制度を導入する神室少年自然の家等の事例も参考にしたい。まざれや等の民泊は、神室少年自然の家等との連携により自然体験型観光メニューの創設など地域との一体的な事業展開を目指したい。梅里苑の指定管理者制度とともに、出来るだけ早く導入したい。

**議員** 町の商工業振興施策は。

**町長** もがみ北部商工会等関係機関との連携を深め、事業者等を支援する事業などを含め、具体的な将来ビジョンを関係者一丸となって作る必要がある。起業・創業、経営改善等の相談に対応しながら、町内企業に勤めたい若者を増やす取組みや地元定着できる人材確保のため、地元企業への幅広い支援を検討し、出荷額低迷からの脱却に努めたい。

## 町長選挙に立候補した最大の理由は

町長

### 対話のまちづくりに取り組みたい



大友 又治 議員

**議員** 町の交流人口拡大施策は。

**町長** 「梅里苑」の指定管理制度は、諸課題を整理する期間が一定程度必要であり、関係者との協議・調整を進め、



町民に愛される施設をめざす梅里苑



平野 勝澄 議員

## 女性や青年の意見聴取を積極的に

町長

□様々な機会を通じて広く対話に努めていく

く町民との対話に努めていく。全地区において老若男女が集まって

いたかく中での座談会で広く意見交換したい。より多くの人が議会

傍聴しやすい環境整備は重要だが、それだけでなく、いかに町政に興味を持ってもらうかがより重要だ。託児所は要望があれば、イベント等で臨時託児所をやっているように不可能ではない。どのようにPRするかも含め検討の課題としたい。

**議員** 町長は、全地域を回り町民の意見を聴いて施策策定をしていきたいと述べている。今後の町の進路を決めていくためには女性や青年層の意見を積極的に取り入れていかなければならない。工夫が必要だと考えるが、町長の構想は。また、議会傍聴でも、昼間仕事で来れない方の参加のため日曜や夜間開催などの工夫や、子育て世代の女性に参加してもらうため希望に応じて

一時的な託児所を開設するなどの改革が必要ではないか。  
**町長** 町民と接する機会、対話する機会を設け、様々な意見を広く聞きたい。子育て世代であれば、保育・教育・学校行事、働く方々であれば産業団体の行事や伝統文化・スポーツイベントや観光・交流イベント、地域行事、高齢者であれば老人クラブや地域のいきいきサロンなど、様々な機会を通じて広



平成28年度の議会報告会の様子

環境整備・生活水準の県内最下位からの脱却は。  
**町長** 義務教育の副教材費の無償化は来年度から取り組む。給食費の無償化は財源確保と学校給食の在り方検討を行う。0歳から2歳までの保育料の無償化は3歳未満の受け入れ体制整備を優先し、国の無償化の実施内容を踏まえ検討する。

また、新年度予算編成に向け、福祉給付事業の所得制限基準・がん検診の自己負担割合の見直し、合併浄化槽の普及率向上に向けた補助金の在り方を再考する。  
図書館機能は庁舎整備計画と既存施設の活用を図り交流や健康づくり、文化・芸術活動を奨励するため公施設料金の見直しを来年度中実施する。  
**議員** 農林業の振興については。  
**町長** 県・関係機関の強い協力関係の下、ほ場整備区域の早期着工完成に向け加速化する。  
**議員** 雪に負けない町づくりは。  
**町長** 流雪溝の計画整備を推進し、国・県と連携して早期に更新整備を実施する。  
**議員** 議会との向き合い方は。  
**町長** 施策検討の段階で、町民の皆さんや関係者との対話を重視して一体感を持ち、施策・事業決定は町民・議会から納得して頂くことが重要と考えている。

### 他の質問

●介護保険第7期計画について

## 町民の期待に対し どう応えていくのか



外山 正利 議員

町長

□温かく元気な笑顔あふれる町づくり 6つの公約を力強く進めていく

**議員** 町の執行体制確立に向けた早期の取り組みは。  
**町長** 早期に副町長と教育長を任命し町行政組織と町教育行政をしっかりとまとめ上げて行く。人選は熟慮の上、適任者を年度内に選任していく。

**議員** 温かく元気な笑顔あふれるまちづくり 6つの公約の達成の道のりは。  
**町長** 公平公正を第一に對話から生れる一体感のある町づくり、人づくりは、すぐに実行できる事から始める。就任直後職員に対し、町民や関係者へのあいさつの徹底と十分な對話による町民のニーズを把握することを求めた。地区座談会は来年度から全地区で取り組む。

**議員** 子育てしやすい



流雪溝の工事の様子

環境整備・生活水準の県内最下位からの脱却は。  
**町長** 義務教育の副教材費の無償化は来年度から取り組む。給食費の無償化は財源確保と学校給食の在り方検討を行う。0歳から2歳までの保育料の無償化は3歳未満の受け入れ体制整備を優先し、国の無償化の実施内容を踏まえ検討する。

また、新年度予算編成に向け、福祉給付事業の所得制限基準・がん検診の自己負担割合の見直し、合併浄化槽の普及率向上に向けた補助金の在り方を再考する。  
図書館機能は庁舎整備計画と既存施設の活用を図り交流や健康づくり、文化・芸術活動を奨励するため公施設料金の見直しを来

また、新年度予算編成に向け、福祉給付事業の所得制限基準・がん検診の自己負担割合の見直し、合併浄化槽の普及率向上に向けた補助金の在り方を再考する。  
図書館機能は庁舎整備計画と既存施設の活用を図り交流や健康づくり、文化・芸術活動を奨励するため公施設料金の見直しを来

また、新年度予算編成に向け、福祉給付事業の所得制限基準・がん検診の自己負担割合の見直し、合併浄化槽の普及率向上に向けた補助金の在り方を再考する。  
図書館機能は庁舎整備計画と既存施設の活用を図り交流や健康づくり、文化・芸術活動を奨励するため公施設料金の見直しを来



佐藤 栄子 議員

町長

# 元気な町づくりに向けた政策は

## 「食と農」の分野を含め住民ニーズに沿った検討をする

### 交流人口の拡大

**議員** 商店街の活性化に向けたものがみ北部商工会との連携は。

**町長** 事業の連携については、国・県における「商店街・商業者等が活用できる支援制度」について研鑽しており事業の連携について模索しているところである。

**議員** 地域おこし協力隊の拠点を町中心部に移動して、「活性化と発信、交流の場として

の活動」については。

**町長** 町中心部に移動すべきか、現在の場所で継続すべきか関係者と協議しながら「食と農」の分野を含めた住民ニーズに沿った検討を進めていく。

**議員** 交流人口拡大の為農家カフェ、マルシェなどの開催は。

**町長** 地域が一体となって新たな活性化を目指す事業について支援の要請があれば前向きに検討していく。  
**議員** 観光資源の発掘



昨年7月の「やまがた元気な風展」でのマルシェ

と海外交流の考えは。  
**町長** 真室川町観光振興計画に基づき、観光

資源の発掘・磨き上げを図りながら、時代のニーズに合致した整備

を行っていく。まずは観光マップの更新に着目して、海外交流については、新庄最上地域が一丸になって戦略を講じる必要がある、経済効果が期待できるものとし最上観光協議会が中心になり、今後誘客活動を推進し要望を行う。

じた高齢運転者対策を推進するため、新庄警察署はじめ関係各位と意見交換し、運転免許自主返納を実地する方向で検討していきたい。フリーで乗降できる、デマンドタクシーなどで対応することを考えている。

### 高齢者の免許証返納

**議員** 返納された方への支援の考えは。

**町長** 本町の事態に応

## 請願・陳情書等

●「若い人も高齢者も安心できる年金制度」を要請する意見書提出の請願

### 【請願者】

全日本年金者組合

真室川支部

支部長 高橋 静義

### 【紹介議員】

平野 勝澄

### 【請願趣旨】

厚生労働省は、2013年から今年までの4年間で、『物価下落』や『マクロ経済スライド』と称して、年金加入者減や平均寿命延伸等の年金

財政事情による給付額の切り下げ等で年金35%も削減しました。『マクロ経済スライド』は、これから30年余も毎年0.9%の年金削減を図るもので、現役世代も不安の上なものです。

年金は、その殆どが消費に回ります。したがって年金削減は、地域経済の循環や自治体財政にと

っても大きく影響するものと考えられます。同時に、連続する年金減額が行われれば、とりわけ低賃金の非正規雇用で働く若者（将来の年金生活者）にとっても大変深刻な問題となります。

このような中で、昨年の臨時国会で「年金受給資格」が25年から10年に短縮され、約64万人の無

年金者が年金受給できるようになりました。

しかし、年金生活者の当面の願いである毎月支給、最低保障年金制度が具体化されていないため、今後とも安心して維持できる制度となるよう政府に意見書を提出することを求めたもの。

### 【結果】継続審査

○請願を総務文教常任委員会でも審査しましたが、審査の過程として、「安心できる年金制度を求める趣旨に賛同できるものの、全国に年金受給者団体の数多くあり、他団体との連携による、真に望ましい年金制度を求めるべき」として、継続審査と決定しました。

# 議会のうごき

H29年10月～H30年1月

10月25(水) 最上地区広域連合定例会

26(木) 議員協議会

11月10(金) 全員協議会

20(月) 地方自治法施行70周年記念式典

21(火) 議長会行政セミナー

22(水) 議長会全国大会

23(木)-24(金) 最上市町村議会議長視察研修

27(月) もがみ北部商工会青年部との意見交換会

12月11(月) 議会運営委員会、全員協議会

14(木)-15(金) 最上市町村議会議長自治研修会

18(月)-21(木) 町議会定例会

19(火) 最上広域市町村圏事務組合議会運営委員会

最上地区広域連合議会運営委員会、全員協議会

22(金) 最上地区広域連合定例会

26(火) 最上広域市町村圏事務組合臨時会

市町村長と議会議長の意見交換会

1月22(月) 町議会臨時会

○議会広報常任委員会の開催 (1/11、1/15、1/17)

※この他、町主催の行事にも出席しております。

## 伝言板

# 春夏秋冬

冬だけど「初春」。

家族や友人と一緒におせち料理やおとそを頂く新たな年の始まりです。20日には大寒を迎え、一年で最も寒さが厳しい頃、それにも増して大雪には毎年悩まされています。「雪さえなければいい所なのに」と、皆口をそろえて言います。

しかし、雪の恩恵があつての作物の成長や美味しさが、存在するようです。雪どけ水の豊富なミネラル成分によるものと言われています。

### ～今回の注意事項～

- 季節の野菜が乏しい時期なので栄養バランスに注意する。
- インフルエンザ、かぜ予防対策を“健康な一年になりますように”



新田町長が誕生し、町長の所信表明が聞きたい、町議会の雰囲気にも触れてみたいという思いもあり、初めて傍聴しました。町のトップとして、将来に向けての町づくりや町長だからこそ、やっていかなければならないという内容の所信表明であったと思います。

本会議は、新田町政がスタートすることから選挙政策（公約）についての質問が集中していました。私達は日々の暮らしの中で、多くの要望と疑問があります。議員はこのことを町政に反映することが重要で、議員としての学習も必要だと思っています。

心豊かに生活していくために、「話す」ことが住みよい地域になっていくのではと思いました。

糸出

渡部まり子さん



12月議会傍聴の様子

## 傍聴お待ちしております

● 次回の  
定例会は

# 3月です

平成29年の本会議議事録は町ホームページでもご覧いただけます。

URL <http://www.yume-net.org/>

お問い合わせは \_\_\_\_\_

議会事務局まで

☎62-2111 (内線205)

編集を終えて

明けましておめでとうござります。

近年ではめずらしく11月からの大雪で慌ただしい年末年始をお過ごしになったことと思います。昨年は選挙の多い一年でした。1月に県知事選、3月には私たちの町議選、10月には衆議院選挙、そして11月の町長選挙、町民のみならずも選挙で忙しい一年ではなかったでしょうか。町は12年続いてきた井上町長から、新田町長へと代わり新しい町政になりました。町は今、庁舎建築や農地整備などの大型事業を始め、子育てや介護支援、働く場所の確保など多くの課題を抱えています。新田町長の新たな町政に私達議員は、しっかりと向き合い、町民のみなさんの声を町政に届けていく事が大切と考えています。今年も皆さんの声をお待ちしております。

(高橋 秀則)

〔議会広報常任委員会〕

委員長	佐藤 正
副委員長	平野 澄
委員	佐藤 成子
委員	高橋 秀則
委員	佐藤 栄子